

令和7年12月 勝浦市議会定例会一般質問順序表 【令和7年12月3日(水)】

順序	通告時間	質問者	質問事項	質問要旨
1	60分	渡辺 ヒロ子	1. 勝浦市の子育て支援と教育の充実について 2. 教育機関との連携による地域づくりと防災体制について	(1) 勝浦市の子育て支援を、どのように市外へ発信し、移住や定住促進につなげていくのか伺う。 (2) 今後の教育の質の向上に向けた取組みについて伺う。 (1) 国際武道大学、成美学園高等学校など市内にある教育機関との連携を、地域の活性化や人材育成の面でどのように進めいくのか伺う。 (2) 災害発生時に避難所となる教育施設との協力体制をどのように構築しているか伺う。
2	60分	佐藤 啓史	1. 人口減少対策としての関係人口創出について 2. 林業による地域振興について	(1) ネット市民制度について 平成23年9月議会、平成30年12月議会において「ネット市民制度」の創設について提案した。 平成23年9月議会では、「市が行なうことが適切かどうかかも含め研究したい」。 平成30年12月議会では、「友好都市である徳島県勝浦町で創設したふるさと住民登録制度を参考に交流人口、関係人口の拡大に努めたい」。 との答弁があった。あれから7年が経過したが、市の取り組み状況について伺う。 (2) デジタル市民制度について 14年前に提案した「ネット市民制度」と似通った制度として、「デジタル市民制度」の取り組みが全国の複数の自治体で始まっている。勝浦市での「デジタル市民制度」の導入を提案するが、市の見解を伺う。 (3) ふるさと住民制度について 総務省は、仕事や趣味などで居住地以外の地域に継続的に関わる人を「ふるさと住民」として登録する制度の創設に向け、来夏にもモデル事業を実施する方針を固めた。今後、モデル事業に参加する自治体を公募するという。勝浦市でも「ふるさと住民制度」の公募に応募すべきと考えるが、市の見解を伺う。 (4) 人口減少対策として市が取り組んでいる施策と成果を伺う。 (5) 関係人口及び交流人口増加のための取り組みとその成果を伺う。
3	30分	岩瀬 琢弥	1. 地方公務員の人手不足について	全国の自治体で公務員の応募者数が減少傾向にあり、30歳以下の若手職員の離職率も増加傾向にある。勝浦市でも例外ではなく人手不足に苦慮されていることから現状の認識とその対策を伺う。
4	45分	戸部 薫	1. 障害者[児]総合支援法にもとづく施策のいっそうの充実について	(1) 障害者[児]総合支援法にもとづく事業を推進するにあたり、今日時点での課題について伺う。 (2) また、その課題の解決に向けた方策について、どのような考え方を伺う。